

2018年膵臓がん市民公開講座 パープルリボンセミナーin柏の葉

患者さんを支える情報と制度

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 サポーティブケアセンター/がん相談支援センター 医療ソーシャルワーカー 飯田 洋子

本日のおはなし

- 1. よくあるご相談
- 2. がんの治療や療養に役立ててほしい制度
- 3. 最新の情報や適切な情報を知る

本日のおはなし

- I. よくあるご相談
- 2. がんの治療や療養に役立ててほしい制度
- 3. 最新の情報や適切な情報を知る

<事例>

Aさん(男性、64歳)

・診断・・膵体部がん、リンパ節転移

治療方針:ゲムシタビン+ナブパクリタキセル

• 症状 : 食欲不振、疼痛

- 家族構成:高齢の母(80代)と2人暮らし

・就労 :60歳で定年を迎えその後は嘱託で仕事をしていた

• 健康保険:社会保険加入

• 収入 : 年収350万円

医療費はどのくらいかかる?

家で痛くなったらどうしよう?



医療面だけではなく、精神面、社会面、家族のことなど さまざまな不安や心配が生じると思います。

医療機関での関わり

- 医師
- 看護師
- · 管理栄養士 栄養指導
- 薬剤師薬や副作用管理
- 医療ソーシャルワーカー 経済面や自宅環境の整備

医療費

高額療養費制度
限度額適用認定証の取得
→ I ヶ月で57,600円
(4ヶ月~44,400円)

就労

- 職場の上司と相談→治療が落ち着くまで休職
- ・傷病手当金の申請 →基本給2/3程度



体調管理

- 介護保険→主治医と相談し申請
- 訪問看護の導入疼痛コントロール体調や副作用の観察/管理内服管理精神面のサポート

本日のおはなし

- 1. よくある相談
- 2. がんの治療や療養に役立ててほしい制度
- 3. 最新の情報や適切な情報を知る

治療や療養生活に役立つ制度





経済的な負担を軽減する制度

• 高額療養費制度

概要:同一月(1日から月末まで)にかかった医療費の自己負担額が高額になった場合、一定の金額(自己負担限度額)を超えた分が、あとで払い戻される。

70歳以上の方は…保険証と高齢受給者証を保険医療機関に提示 70歳未満の方は…事前に「限度額適用認定証」を提示すると 窓口での負担が自己負担限度額までとなる。

治療費はどのくらいかかる?

<治療費の例>ゲムシタビン+ナブパクリタキセル(アブラキサン)の場合

4週間に3回投与の場合…1回あたり107,589円×3回 1コースあたり322,767円(10割負担)

医療費: I割の方で<u>ひと月32,276円</u>

3割の方でひと月96,830円の薬代

70歳以上

70歳未満

区分	自己負担 限度額	多数該当	区分
年収約1,160万円~	約252,600円	140,100 円	ア
年収約770~1,160万円	約167,400円	93,000円	イ
年収約370~770万円	約80,100円	44,400円	ウ
~年収約370万円	57,600円	44,400円	エ
市町村民税非課税者	35,400円	24,600円	オ

区分	自己負担限度額		
	外来	入院	
一般	14,000円	57,600円 多数該当44,400円	
現役並所得者	57,600円	約80,100円 多数該当44,400円	
市町村民税非課税者Ⅰ	8,000円	15,000円	
市町村民税非課税者Ⅱ	0,000	24,600円	

• 傷病手当金

概要:業務外の事由による病気やケアの療養のための休業時の 保障

要件:連続して3日間(待機)の後、4日目以降の仕事に就けなかった日に対して支給

支給開始日から1年6ヵ月支給

• 障害年金

概要:病気やケガによって生活や仕事などが制限されるように なった場合、一定の障害の状態ある場合に請求が可能。

要件:初診日から1年6ヶ月を経過 初診日において65歳未満

療養生活に役立つ制度

• 介護保険

概要:介護が必要な自宅療養をされている患者さん、ご家族

を社会全体で支える制度

(サービス利用時には1、2割の自己負担あり)

要件:対象:①65歳以上の方(介護が必要な状態)

② 40歳から64歳の方は主治医に相談

住民票のある住所地の役場で申請をする必要があります

利用の例

訪問介護(掃除・調理・買い物・入浴介助等) 1回200~400円(1割) 介護用ベッドレンタル 月1500~2000円(1割) • 訪問診療(医療保険)

概要:通院困難な患者に訪問診療医が自宅へ定期的・緊急時 に訪問

訪問看護(介護保険/医療保険)

概要:訪問看護ステーションから看護師が自宅へ訪問し、 看護ケアを提供、療養生活を支援する

例)病状の観察、医療機器管理、

療養上のお世話(清拭、洗髪、入浴介助、排泄など介助・指導)、 ターミナルケア、ご家族への介護支援・相談など

緩和ケアとは

緩和ケア

がんが進行した時期だけでなく、がんが見つかったときから 治療中も必要に応じて行われるべきものです。

がんの治療が難しいということがあっても、何もできないとい うことではありません。

全人的苦痛

身体的苦痛

精神的苦痛

社会的苦痛

スピリチュアル ペイン

- どこで緩和ケアを受けることができる?
 - ・緩和ケア専門病棟・緩和ケア外来
 - ・医療機関の緩和ケアチーム
 - ・地域の医療機関

(緩和ケアに対応できる技術をもつ病院)

・在宅緩和ケア(訪問診療・訪問看護)

どのような環境で誰とどのように過ごしたいのかを考えながら、 過ごしやすい環境を地域の医療機関や介護福祉事業所等と相談 をしていくことが可能です。

地域生活支援資源

社会福祉協議会・保健センター 行政(介護保険・生活保護)

地域包括支援センター ケアマネージャー

訪問看護 訪問入浴 福祉用具 訪問リハビリ

児童相談所 女性支援センター etc.



患者さん・ご家族



各種老人ホーム 老人保健施設



かかりつけ医 往診医 訪問看護ステーション 訪問薬局

医療機関

対がん協会 患者会



がん診療連携拠点病院



緩和ケア病棟



緊急時対応病院

本日のおはなし

- 1. よくあるご相談
- 2. がんの治療や療養に役立ててほしい制度
- 3. 最新の情報や適切な情報を知る

がんの診断・治療に関する情報

(書籍・小冊子)

書籍

『患者必携』学研発行

がん対策情報センター発行

各種がんシリーズ冊子

療養生活(リハビリテーションなど)

がんと就労Q&A



がん関連情報コーナーで閲覧・貸出・入手できます。 がん情報サービスよりPDFでも印刷可能です。

がん情報サービス https://ganjoho.jp/public/qa_links/brochure/index.html

がんの診断・治療に関する情報(インターネット)



膵臓には2つの役割があります。食物の消化を助ける膵液の産生(外分泌機能)と、血糖値の調節などをするホルモン(インスリンなど)の産生(内分泌機能)です。

がん情報サービス ht

https://ganjoho.jp/public/cancer/pancreas/index.html

膵がん教室の紹介

運営メンバー

- ・医師(肝胆膵内科・精神腫瘍科・緩和医療科)
- ・看護師
- ・薬剤師
- ・管理栄養士
- 医療ソーシャルワーカー

開催概要

対 象 者 :国立がん研究センター東病院に受診されている

患者さん・ご家族

開催時間:17時00分~18時30分(2か月に1回程度)

開催形式:ミニレクチャー,質疑応答

参加費用:1名100円(資料、お茶代)

膵がん数室のご案|



- かん治療を受ける患者さん・ご家族を欠えるために-

当院では、抗がん剥治療を受ける膵臓がんの 患者さん・ご家族を対象に、腱がん数室を開催しています。

🦜 たとえば こんな疑問・心配ごとをお持ちの方、ご参加ください

○膵がんの原因や症状、治療法について知りたい

Oこれから抗がん剤治療を受けるけれども、副作用の対処方法について、 あらかじめ知っておきたい

○がん治療の医療費、介護のこと、患者会のこと、などサポート体制に ついて知りたい

🦜 開催内容

【開催 日時】 2013年11月29日(金) 午後17時~18時30分

【開催 場所】 1階外来相談室(1番カウンターと2番カウンターの間)

(参加量) 100円 【プログラム・講師】

①膵がんと治療:肝胆膵内科 医師

②抗がん剤の副作用との上手な付き合い方:薬剤師

③治療中のお食事のすすめ方 一上手に栄養を摂るために一

②がんと事らし: 医療ソーシャルワーカー

⑤實疑応答

【申込み方法】11月25日(月)までに、下記窓口まで電話連絡を お願いいたします。

尚、事前申し込みがなくても、当日参加可能です。

【お申込み・お問い合わせ先】

国立がん研究センター東病院 患者・家族支援相談室/医療運搬室 TEL: 04-7133-1111 (病院代表) /04-7134-6932 (相談室置面)

ミニレクチャー

- 2種類の回で実施しています。
 - ①医学知識を学ぶ
 - 肝胆膵内科医師 緩和医療科医師 精神腫瘍科医師
 - 看護師
 - ②治療や療養生活に役立つ工夫・情報を知る
 - 医師(肝胆膵内科) 薬剤師 管理栄養士
 - 医療ソーシャルワーカー

		テーマ	職種
	I	膵がんと治療	肝胆膵内科医師
医学	2	緩和ケアのこと 一緩和ケアって怖くない—	緩和医療科医師
知 識	3	ストレスとうまくつきあい 治療を乗り切る	精神腫瘍科医師
	4	病気との上手な 付き合い方	看護師
	5	グループワーク	全職種
治		テーマ	職種
治療・	ı	膵がんと治療	医師
療	2		
療・生活に役	1 2 3	膵がんと治療 抗がん剤治療の副作用	医師
療・生活に		膵がんと治療 抗がん剤治療の副作用 との上手な付き合い方	医師 薬剤師

ミニレクチャー・グループワーク



当院での患者教室・サポートグループ

- カバーメイク体験会 (2ヶ月に1回開催)
- お肌と爪のケア教室
- ・歯みがき教室
- リハビリ教室
- お薬教室
- 柏の葉料理教室(月2回)
- 社会保険労務士との就労相談(月3回程度)
- ハローワークによる出張相談(第1・3木)







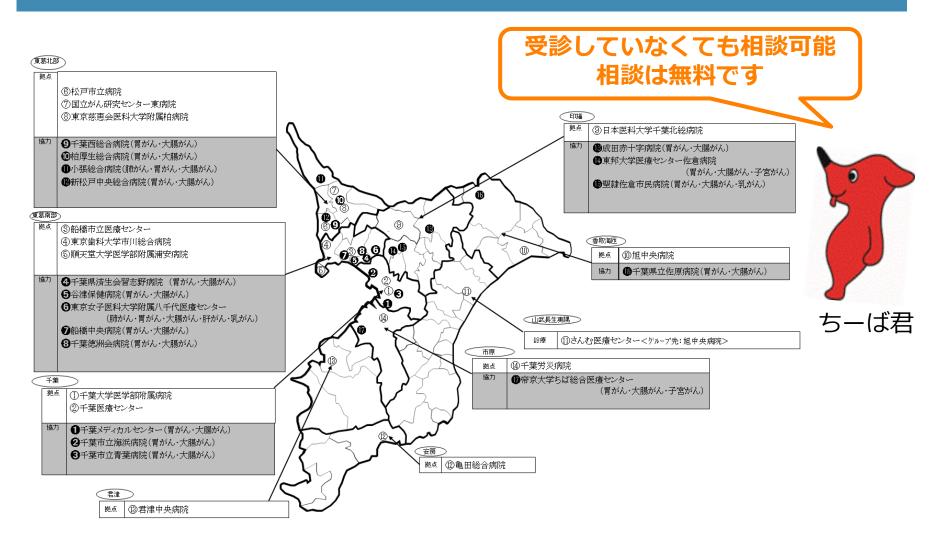
がん相談支援センターとは

- 「がん相談支援センター」は、全国のがん診療連携拠点病院 などに設置されているがんに関するご相談の窓口です。
- 患者さんやご家族のほか、地域の方々はどなたでも無料で ご利用いただけます。
- がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などに ついて相談することができます。

※がん診療連携拠点病院

質の高いがんの医療が受けられるように治療の内容や設備、がんに関する情報提供などについて、一定の基準を満たしています。

千葉県内のがん相談支援センター



サポーティブケアセンター/ がん相談支援センターをご利用ください

相談方法:面談・電話による相談・情報による支援

● 受付時間:月~金午前8時30分~17時15分

● 常駐職員:医療ソーシャルワーカー・看護師

● 場 所:病院棟2階 呼吸器科外来前

- *相談内容に応じて、医師・看護師・薬剤師・ 管理栄養士など様々なスタッフと連携します。
- *秘密は厳守します。



